

シーズ分野;基礎医学 生物学

研究シーズ;免疫細胞の生体内移動機構の研究

— 接着分子やケモカインの動態 —



滋賀医科大学 生命科学講座 生物学
教授 平田 多佳子

「アレルギー性鼻炎は治る？」

■関連文献・特許

- J Immunol 178, 2499-2506, 2007
- Int Immunol 24, 705-717, 2012
- PLoS One 16, e82590, 2013
- Cell Immunol 302, 58-62, 2016

■研究概要

免疫とは、体内に侵入してきた病原体を排除して体を守るためのものである。しかし、自身の細胞や組織に過剰に反応して攻撃を加えてしまうことにより「自己免疫疾患」になったり、外界の物質に対して過剰に反応してしまうことにより「アレルギー疾患」になったりする。

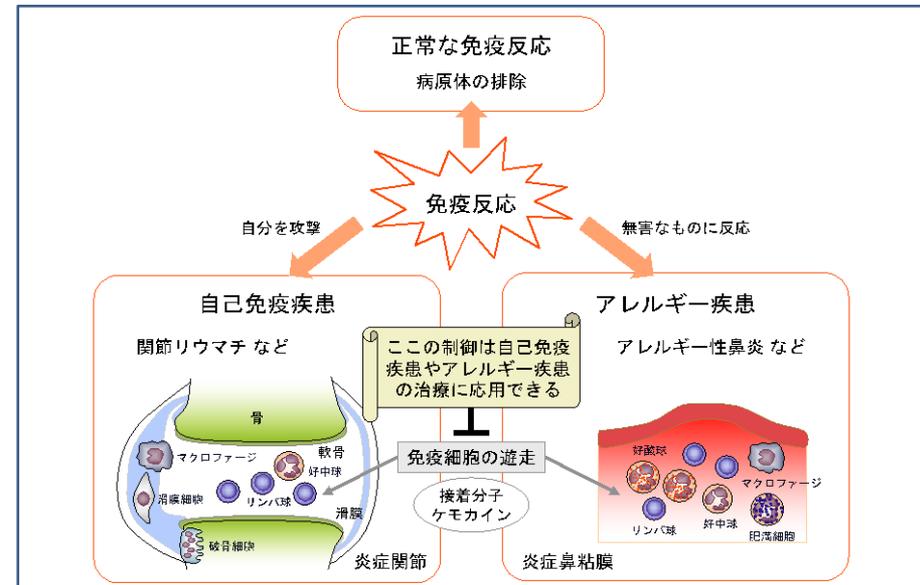
免疫に関係する細胞は体の中を1つの組織から別の組織へと動きまわっている。私たちは、免疫細胞の動態に注目し、「体内で免疫細胞がどのように動くのか?」「アレルギーや自己免疫疾患では免疫細胞の動きがどのように変化するのか?」「動きを調節することで病気を制御できるのか?」といった観点から研究を進めています。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・アレルギー疾患や自己免疫疾患の原因や治療法の基礎的研究
- ・上記に関連するヒト生体試料を用いた研究

■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・基礎研究段階から上記テーマを共同で実施してくれるパートナーを探している。



お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp